

西山ファミリー環境探検隊

区 分 講師派遣

日 時 2023 年 6 月 4 日（日）9 時 30 分～15 時

場 所 西代里山公園管理棟前～西山キャンプ場周辺

天 候 晴れ

主催者 西山森林整備推進協議会

参加者 親子 12 組 27 名 当会 5 名



開催日の前日に本州の南側を台風が通り抜けた影響で強く雨が降り、一日延期となりました。当日、お天気は上々。心配していた土砂崩れもごく小さく、谷川の水が増水している以外は問題なく、準備体操を済ませた後、3 班に分かれてスタートしました。

最初の橋の所で早速オトシブミの観察から始まります。山に目を向けると枯れた竹林があります。近づいて竹の花を見ます。そばにヤブムラサキが花を咲かせています。ふわふわの葉を触ってもらいます。ドクダミの葉の匂いを嗅いだり、コウゾリナの茎に生えている硬い毛も確かめます。



ヤブムラサキ



花が咲き、枯れた竹林

少しゆっくりしすぎました。あわててサツマイモの苗を植えに行きます。

竹林の道を通り、事前に調べていたマタタビの木が見える所に来ました。けれど谷川の向こうにあるマタタビの白い葉は遠すぎて、一部の大人の人にしか注目してもらえませんでした。（残念） 太い鎖の柵の所からキャンプ場へ向かいます。

ニワトコの赤い実がなっています。エゴノキ、カナメモチ、ウツギ、イボタノキ、ネズミモチなどが白い花を咲かせています。サルトリイバラやコバノガマズミの実も見えています。下見の時に鳴き声を聞いたタゴガエルは大雨で移動したのか見つかりませんでした。



タゴガエルの卵を観察中



ちりめんじゃこじゃないよ

子ども達が少し疲れてきた頃キャンプ場に到着。持ち寄りの食材で作ったカレーが出来上がっていました。タケノコや長芋の入ったカレーをいただきました。食後、子ども達はマシュマロを焼いて食べたり、川の中に入って遊んでいます。

店開きの準備を始めたところ、途中で拾ってきたオオカマキリの卵囊から赤ちゃんカマキリ（仮幼虫）が次々と出てきました。初めて見ました。子ども達の半数位は谷川で水遊びに夢中です。呼びに行き、子どもと一緒に大人も楽しんで見守ります。オレンジ色の小さなちりめんじゃこのような幼虫がすぐに脱皮を済ませ散らばっていきます、見かけは小さなカマキリです。そっと布地を半分に折って準備終了。

店開きです。最初はもちろん赤ちゃんカマキリからです。次は道中集めてきた白い花の樹木の説明。続いてオトシブミがどのようにして揺籃を作るのか、2種類、実際に葉っぱを使って実演します。次にタケノコが生長して竹になる様子と竹の秋を絵本で紹介。子ども達が採集してきた生物からサワガニの生態の説明。そしてセミの抜け殻が見つかったので、これはみんなのよく知っているセミではなく、ハルゼミだと紹介しました。種名は持ち帰って調べること。

子ども達は色々なものを見つけてきました。そして生き物を怖がらずに手を伸ばしてきます。帰り道、アマガエルの2.5倍くらいの大きさの緑色のカエルを見つけた女の子が捕まえてケースに入れて持ってきました。モリアオガエルだったのでしょうか。この子達がこれからも生き物に目を向けて成長してほしいと思いました。

（文責 海老原）



いろいろたくさん学んだね